

なる
天木七輝くん・須貝大也くん
全国3位に貢献!

～ JCカップU-11少年サッカー大会～



▲天木七輝くん（前列中央）と
須貝大也くん（後列左から2番目）

10月11日・12日に愛媛県松山市で開催された「JCカップU-11少年サッカー大会」で、北信越地区代表として参加した『いわふねユナイテッドFC』のメンバーに関川小5年の天木七輝くん・須貝大也くん（いずれも下関）が選ばれ、チーム全国3位に大きく貢献しました。

大会は、公益社団法人日本青年会議所とサッカー元日本代表選手などで構成される一般社団法人日本サッカー名蹴会の共催。大会は、全国10地区から10チームが参加し、トーナメント戦で行われました。

いわふねユナイテッドFCは、荒川・村上・神林地区のスポーツ少年団やサッカークラブに所属するメンバー11人で構成。練習時間が少なかつたものの、天木くんはチームのキャプテンとして、須貝くんはゴールキーパーとして活躍しました。

須貝くんは「3位になることができ嬉しかったし、ゴールキーパーとしてチームに貢献できたと思う。全国大会に出るチームは寄せも早く、シュートも強かった。もっと練習してうまくなりたい」と話していました。



第17回 BSN少年柔道選手権大会
小池優佳さん（下関）優勝
高橋葉菜さん（大石）第3位

11月1日に鳥屋野総合体育館で開催された第17回BSN少年柔道選手権大会で、小学校5年生女子無差別級に出場した小池優佳さん（写真右）が優勝、高橋葉菜さん（写真左）が3位に入賞する快挙を成し遂げました。

小池さんは、昨年の同大会決勝で敗れた相手との再戦となりましたが、見事にリベンジを果たし優勝。高橋さんは、相手に攻められる苦しい展開が続く中、残り約30秒で見事一本勝ちを収め、3位入賞を果たしました。

優勝した小池さんは「昨年、同じ相手に負けてしまい2位でした。今年は、目標を決め一生懸命練習したので優勝できたと思います。とてもうれしかったです。同じ教室の葉菜さんも3位に入賞できたので、これからも一緒に強くなっていきたい」と話していました。

なお、二人は県の強化選手として来年5月に講道館で行われる強化合宿に参加予定です。



万代太鼓に参加者興奮!
ピーカーブー
Peekabooハロウィンパーティー

11月1日、村民会館大ホールを会場に、子育て支援サークルPeekaboo（田村優子代表・平内新）主催のハロウィンパーティーが行われ、かわいいドレスや映画キャラクターの衣装などで仮装した約80人の親子連れが参加しました。

パーティーでは、Peekabooのメンバーが人形劇を披露したほか、スペシャルゲストとして新潟市の万代太鼓『華龍』が登場。パワフルでダイナミックな圧巻の演奏が始まると、会場内の空気は一変し、参加者から大きな拍手と歓声が送られました。演奏終了後には、子どもたちも和太鼓を体験。初めて叩く大きな和太鼓を楽しんでいました。

横浜市から帰省中の高橋桃寧^{もね}さんは「歌に合わせて太鼓を叩くのが難しかったけど、上手にできて楽しかった。またしてみたい」と笑顔がはじけていました。

見逃さないで「注意サイン」 ～自殺防止講演会～

11月15日、農村文化交流センターの～むを会場に自殺防止講演会「うつ予防と再発防止～なにがあっても大丈夫～」が開催され、約40人が参加しました。講演会はNPO法人ポップステップげんき（平田ゆかり代表・下関）と村上保健所、村の共催。

当日の講師は、NPO法人クッキングハウスの松浦幸子さん（東京都）が務めました。松浦さんは講演の中で「うつ病を予防するためには、睡眠や食の変化、体の疲れなど自分の注意サインを知ることが大切」と呼びかけたほか、相手に優しい言葉をかけ続けることや『ほめ言葉』など言葉の力についても話していました。

参加者からは「これまで、自分の注意サインを気にしたことはありませんでしたが、とても大切なサインだと気付いた」「もう自殺者を出したくない」などの感想が聞かれました。



断る勇気を持とう！ 関川中で薬物乱用防止講演会

危険ドラッグによる事故や事件が社会問題となっている中、関川中学校で3年生を対象にした「薬物乱用防止教育講演会」が開催されました。講演会は昨年引き続き2回目の開催。講師は、せきかわ調剤薬局の赤塚^{まさき}将来薬剤師が務めました。

講演ではDVDを上映。薬物の種類や依存性のほか、薬物が脳に与える影響などについて学びました。講師を務めた赤塚薬剤師は「ドラッグは、元気になる薬とかダイエットに効く薬など、違法薬物と知らされず勧められることがある。身近なところから誘われたら断りにくいかもしれないが、断る勇気を持ってほしい」と生徒たちに呼びかけました。

講演を聞いた五十嵐^{ひろむ}大夢さん（上川口）は「ドラッグは危険で、将来、絶対に使ってはいけないものだと思った」と話していました。

紅葉も見頃を迎えた11月7日、東桂苑を会場に秋の観光イベント「食地」が開催され、村内外から約20人が参加しました。食地は、地元の食材を使った料理をその土地で食べていたかどうかと毎秋4〜5回ほど開催されていて、村外からのリピーターが多い人気のイベント。

この日は、渡邊邸周辺の散策やトウモロコシの皮を使った花台づくりを体験。その後、村生活改善研究会の皆さんが料理した粕煮や鮭の焼漬け、ぜんまいの煮物、おこわなど、全11品の郷土料理が振る舞われ、参加者は庭園に広がる紅葉を眺めながら料理に舌鼓を打ちました。

新発田市から友人5人と訪れた小日山洋子さんは「食地は一昨年に続いて2回目の参加です。外の散策か、中での体験コーナーか選べるので良かった。新発田市にも郷土料理はありますが、一味違った料理でとてもおいしかったです。量もちょうど良かったです」と満足していました。

郷土料理に舌鼓 紅葉満開の東桂苑で 人気イベント「食地」開催！

